



※一般会計歳出予算額(性質別)の内訳は、市ホームページをご覧ください。

用語説明

- 市税 市民の皆さんや法人が市に納めるお金
- 地方交付税 一定水準の行政サービスを提供するため、国から交付されるお金
- 国庫支出金 特定の目的のために国から交付されるお金
- 県支出金 特定の目的のために県から交付されるお金
- 繰入金 各種基金から繰り入れられるお金
- 市債 道路や学校などの整備を行うために借入のお金
- 諸収入 市の預金利子や貸付金の元金収入など、ほかの歳入には含まれないお金
- 地方消費税交付金 県税である地方消費税のうち、市に交付されるお金

歳出

- 民生費 高齢者・障がい者・児童などの福祉、保育所などに使われるお金
- 土木費 道路・住宅・公園の整備などに使われるお金
- 教育費 学校教育や文化・スポーツ振興などに使われるお金
- 衛生費 各種検診や予防接種、ごみ処理などに使われるお金
- 総務費 市税、戸籍、選挙関係、そのほか一般的な管理事務に使われるお金
- 公債費 借入金(市債)の返済に使われるお金
- 消防費 消防・水防・災害対策などに使われるお金
- 農工商費 農工商業や観光の振興などに使われるお金
- 農林水産業費 農林水産業の振興などに使われるお金

今年度の財政見通しは、歳入面では、復興需要や雇用情勢の改善などから市民税が増加したものの、地方交付税が減額となるなど、一般財源の確保が引き続き厳しい状況にあります。

一方、歳出面では、公債費は減少傾向にあるものの、復興への最優先の取り組みと、再生に向けた新たなまちづくりを進めるためには、財政調整基金を取り崩して対応せざるを得ない状況となつていきます。

このような状況の中で、平成二十七年予算は、一日も早く復興・再生を成し遂げ、将来を見据えたまちづくりを着実に進めていくこととし、厳しい財政状況の中、復興と新たなまちづくりへの取り組みと、財政の健全化を基本に「『明るく元気ないわき市』復興・創造予算』として編成しました。

平成27年度の当初予算決まる

お問い合わせ  
財政課財政経営係  
☎22・7420

総額 3,306億3,362万円 (前年度比0.0%増)

一般会計	1,541億6,160万円 (前年度比3.4%減)
特別会計	1,241億7,469万円 (前年度比2.2%増)

国民健康保険事業	427億7,398万円
後期高齢者医療	36億2,892万円
介護保険	296億989万円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	1億1,791万円
土地区画整理事業	178億6,872万円
下水道事業	123億9,164万円
中央卸売市場事業	3億3,131万円
競輪事業	167億4,684万円
地域汚水処理事業	4億2,290万円
農業集落排水事業	2億5,108万円
財産区(5財産区)	3,150万円

企業会計	522億9,732万円 (前年度比5.8%増)
水道事業	186億6,684万円
病院事業	336億3,048万円

※平成27年2月定例会において、国の補正予算および東日本大震災復興交付金事業に要する経費等についての補正を行いました。



開催

市議会2月定例会

いわき市議会二月定例会が二月二十六日から三月十九日までの二十二日間の会期で開催されました。議会では「いわき市市立病院助産師修学資金貸与条例の制定」のほか、総額三千三百六億三千三百六十一万九千円に上る本年度の当初予算などが審議され、百二議案が可決・同意されました。

市長からの行政報告

○福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策に係る対応について

福島第一原子力発電所で、廃炉・汚染水対策の作業が遅れや、作業員の死亡事故など、技術的・人的なトラブルが相次いでいることから、二月十三日、同所を視察し、状況を確認してきました。

これらの視察を踏まえ、二月二十日には、東京電力株式会社本店を訪問し、福島第一原子力発電所においては、これまで以上に慎重かつ確実な廃炉・汚染水対策を実施するとともに、市民の皆さんへの説明責任を果たすこと、労災事故を未然に防止するための適切な労働環境を整備すること、さらには、原発事故に関する適正な賠償の実施などについて、強く申し入れを行ってきました。

○第六回いわきサンシャインマラソンについて

今回は「リ・スタート」と「感謝」をキーワードに、大会運営に努めてきました。企業や各団体のサポートメンバーによる趣向を凝らした熱い応援に加え、後半は、雨に濡れながらも数多くの市民の皆さんが、コース沿道から声援を送り、懸命にゴールを目指す多くのランナーを後押しする力となっただけでなく、復興に向かう本市の元気な姿を全国に向けて発信できました。今後、円滑な大会運営と、ランナーサービスの充実にも努めながら、いわきサンシャインマラソンをより良い大会に育てていきます。

○小名浜地域水産業施設整備の取り組み状況について

新たな魚市場や凍結品荷捌き施設、冷凍・冷蔵施設が三月二十六日から供用開始となり、生鮮や凍結品の

水揚げに加え、貯蔵や加工を通し、通年での安定的な流通体制が整うこととなります。

今後も、首都圏をはじめ市内外で、風評の払しょくや水産物の消費・販売の拡大を図る取り組みを進めるとともに、水産業関係者と一層連携し、施設の色を十分に生かしながら、さらなる水揚げの増を図り、本市水産業の復興と発展に繋げていきます。

主な議案

○いわき市市立病院助産師修学資金貸与条例の制定について

将来、市立病院に助産師として勤務しようとする学生に対し、修学に必要な資金を貸与することで、市立病院の助産師を確保するため、同条例を制定しました。

地区全体の小学校と位置付け、同校に再編することとし、名称を、地域の皆さんからの要望を踏まえ「三和小学校」に改めるものです。また、田人小学校に隣接して整備を進めてきた田人中学校校舎について、四月から供用を開始するため、同条例を改正しました。

補正予算の主な内容

- ①平成26年度予算の最終的な整理など(一般会計=△31億7,123万3千円、特別会計=△79億9,103万3千円、企業会計=△13億9,784万7千円)
- ②平成26年度追加補正予算(国の補正予算に対応した事業=8億4,530万2千円、東日本大震災復興交付金事業=5億7,077万1千円)
- ③平成27年度補正予算(国の補正予算などに対応した事業=4億3,352万5千円、東日本大震災復興交付金事業など=10億1,982万3千円、土地区画整理事業特別会計=10億1,314万9千円)

### ふるさといわきの力強い復興の実現

- ◎仮置場等放射線量常時監視事業 4,319万9千円  
仮置場に対する理解を促進するため、放射線量を常時測定・監視する機器を仮置場に設置し、放射線量の測定結果を常時公開します。
- ◎(仮称)なこそ子ども元気パーク屋内施設等整備事業 4億9,649万9千円  
子どもの運動機会を確保するため、屋内運動施設を整備するとともに、老朽化した屋外遊具を更新します。
- ◎都市下水道復興整備事業 11億5,424万円  
久之浜震災復興土地区画整理事業などの沿岸域の整備に合わせ、浸水被害を防ぐため、久之浜ポンプ場の再整備などを行います。
- ◎被災沿岸域公共交通網再編事業 974万2千円  
公共交通の利用が著しく不便な地域などにおいて、地域が主体となった地域交通ワークショップを開催しながら、将来に向けた持続可能な公共交通を構築します。
- ◎被災沿岸地域まちづくり推進事業 300万円  
被災沿岸域において、地域の復興・再生の指針である「復興ランドデザイン」に基づく取り組みを支援し、早期の具現化を図ります。



仮置場に「リアルタイム線量測定システム」を設置し安全性を確認



被災地域で協議が続く「復興ランドデザイン」の策定

### 将来に向けたまちづくりの推進

- ◎マイナンバーカードによるコンビニでの証明書交付事業 985万6千円  
各種証明書を全国のコンビニで発行する環境を整備します。また、申請書の作成および証明書の出力を自動で行う、簡易窓口交付システムを整備します。
- ◎一般廃棄物(ごみ)処理基本計画改定事業 340万7千円  
東日本大震災をはじめとした社会経済情勢の変化を踏まえ、本市のごみ処理を適正に推進するために策定している一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の改定を行います。
- ◎消防団充実強化事業 2,704万4千円  
安全で円滑な消防団員の災害活動に向け、安全性や機能性のより高い活動服に更新します。
- ◎土曜学習推進モデル事業 375万3千円  
子どもたちの健やかな成長を図るため、学校や家庭、地域(公民館など)が連携し、役割分担しながら、土曜学習を実施します。
- ◎小名浜港背後地まちなか回遊性向上事業 1億8,376万3千円  
津波復興拠点のにぎわいを既成市街地に波及させるため、小名浜港と既成市街地を結ぶ市道本町2号線を津波復興拠点と一体的に整備します。
- ◎男女の出会いサポート事業 1,140万6千円  
結婚支援員、結婚サポーターを配置するほか、独身者向けに結婚支援に係る事業を実施します。
- ◎中心市街地活性化基本計画策定事業 1,319万5千円  
「中心市街地活性化基本計画」を策定し、国の支援と民間活力とを活用した中心市街地の活性化を図ります。



中央台南小で行われた土曜学習

### 喫緊の課題などへの対応

- ◎休日夜間急病診療所整備事業 836万5千円  
総合磐城共立病院の建て替えに伴い、現在、同病院内に開設している市休日夜間急病診療所を新たに移転整備します。
- ◎大学医学部寄附講座開設事業 1億1,000万円  
県立医科大学に開設している「地域産婦人科支援講座」に加え、新たな寄附講座である「地域整形外科支援講座」を開設し、総合磐城共立病院において整形外科の医師を招へいします。
- ◎空き店舗等入居支援事業費補助金 439万3千円  
津波により被災した市内の中小企業者が、市内の空き店舗などに入居して事業活動を行う場合に、賃借料および改装費の一部を補助します。
- ◎復興道路整備事業 1億5,700万円  
県が整備する復興公営住宅等の建設に伴い、交通量の増加などが想定されることから、周辺道路の改良を行います。
- ◎子ども・子育て支援新制度関連事業 46億6,353万2千円  
私立保育所や認定こども園に対する施設型給付費の支給など、子育て支援に係るさまざまな取り組みを行います。
- ◎さわやかトイレ・リフレッシュ事業(小・中学校) 1億3,735万9千円  
寄贈を受けた洋式トイレを小中学校に設置し、洋式化率の向上を図ります。
- ◎橋りょう長寿命化事業 6,900万円  
幹線道路などの重要な市道に架かる橋について、長寿命化修繕計画に基づいて、点検や補修等を行います。
- ◎防災まちづくり活動支援事業 842万4千円  
地域住民自らが災害リスクや避難方法などを再確認し、地域の役割や協力体制を構築するため、防災ワークショップの開催を通じて、地区防災計画の策定に向けた活動を支援します。
- ◎南部スタジアム改修事業 2億9,270万円  
外野の芝生化のほか、管理棟の補修工事などを行います。
- ◎市制施行50周年記念事業広報PR事業 1,453万9千円  
市制施行50周年の周知と機運の醸成を図るため、シンボルフレーズやロゴマークを広く募集するほか、記念事業の実施に向けた広報PRを行います。
- ◎U-15野球ワールドカップ推進委員会補助金 729万1千円  
平成28年度に本市で開催予定の「U-15野球ワールドカップ」に向け、官民協働で開催機運を高めるとともに、開催効果を最大限発揮するよう、推進委員会に対し経費の一部を補助します。



復興道路整備事業で改良を行う錦町の御宝殿3号線外1線



南部スタジアムを改修

27年度  
歳出予算

「明るく元気ないわき市」  
復興・創造予算の主な取り組み